

コンパクトエマルシヨンスペクトロメーターを用いたIn-Pb衝突での二次粒子の運動量測定

5405037 鈴木 あかり

エマルシヨンを超高エネルギー重イオンを用いた研究に応用しQGP現象の探索を目指し、1テスラの永久磁石とエマルシヨンを組み合わせたコンパクトエマルシヨンスペクトロメーターを製作、2003年10月にCERNのSPSを使用しビーム照射が行われた。ビーム各種は158GeV/NのIn、標的はPbである。この実験をPAINT実験という。本研究では、チェンバーの中心部分で二次粒子の飛跡を再構成し磁場による曲がりから得られるサジッタを用いて運動量の測定をした。